

ショウ
召

刀・口

殿様が『刀』と口にすること。

小姓を“めす”こと。

呼びつける 例 召喚・召集

まねく

小や承の意に仮借される

ショウ
招

手でおいでおいでしてまねく

まねく 例 招待・招聘・招誘

注 召は目下を呼びつけるのに対し、招はお客を丁重にまねくこと。

ショウ
詔

天子が大臣を召して命令を言いつける

みことのり 例 詔勅・詔書

注 古くは単に上から下への“言いつけ”の意であったが、秦の始皇帝以後、天子に限って用いるようになった。

ショウ
紹

人を招いて、その人たちを結び合わせる

引き合わせ 例 紹介

引き承けてこれを継いでやる(継承)

うけつぐ 例 紹述

ショウ
昭

日の光を家の中へ招き入れる

あかるい 例 昭光・昭代

あかるくする 例 顕昭

ショウ
照

火の光が明るい

明るくてらす 照明

てらし合わせる 例 照合・対照

注 日の光の意味にも使う。 例 日照・残照

沼

湖水の小さいもの

ぬま

チョウ
超

召に応じてすぐさま走り寄る

物を乗り越えて直行する

こえる(乗り越える) 例 超越

こえる(すぐれている) 例 超人・超特急

注 超越(跳び越える 世俗から遠ざかる ずば抜け
てすぐれている)